

# TENURE TRACK

## Newsletter

大阪市立大学テニュアトラック  
ニュースレター  
文部科学省 科学技術人材育成費補助事業  
テニュアトラック普及・定着事業



### (1) OCUテニュアトラック研究討論会を開催

平成27年12月4日(金)、グランフロント大阪北館タワーC 8階 カンファレンスルームにて、OCUテニュアトラック研究討論会を開催しました。5名の大阪市立大学テニュアトラック教員が各セッションの企画・運営・座長を担当し、聴講者が理解しやすいように事前説明の実施や座長からの講演も行うなど、それぞれ工夫をこらしたセッションが行われました。宮野理事兼副学長による大阪市立大学のテニュアトラック事業紹介に続いて、5つのセッションが行われ、学外招へい講演者による先進的研究についての講演や熱心な討論が盛況に行われました。



大阪市立大学のテニュアトラック事業を紹介する宮野理事兼副学長



研究討論会の様子

文部科学省 科学技術人材育成費補助事業「テニュアトラック普及・定着事業」

公立大学法人  
大阪市立大学  
OSAKA CITY UNIVERSITY

# OCUテニュアトラック 研究討論会

～国際公募採用の若手研究者による先進的研究の討論会～

2015 12.4金  
13:00～17:00  
グランフロント大阪  
北館タワーC 8階  
カンファレンスルーム C03+C04

定員120名 参加無料

**参加申込み方法**  
件名を「OCUテニュアトラック研究討論会参加申込」とし、①氏名、②所属、③役職(またはPO)学術、④メールアドレス、⑤電話番号をご記入の上、下記テニュアトラック普及・定着事業事務局宛に電子メールでお申し込みください。  
当日の受付も可能です。ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。

**お申込み/お問い合わせ先**  
大阪市立大学 テニュアトラック普及・定着事業事務局  
電話 06-6605-3682  
サイト <http://www.otp.osaka-cu.ac.jp/>

電子メール [tenure-track@ado.osaka-cu.ac.jp](mailto:tenure-track@ado.osaka-cu.ac.jp)

大阪市立大学主催

プログラム	
13:00～	開会挨拶ならびにテニュアトラック普及・定着事業紹介 座長 副学長 大阪市立大学 理事兼副学長
13:15～	<b>セッション1</b> 富主と細菌の闘い、巧妙な戦略 座長 中島 精彦 東京理科大学 テニュアトラック特任教授 招へい講演者 新田 貴博 大阪市立大学 教授 メインスピーカー課題 (新田 大阪大学 助教) [細菌感染モデルを用いた宿主・病原体相互作用研究]
13:35～	<b>セッション2</b> 高分子の機能によるバイオマテリアル創製 座長 宮本 智博 東京理科大学 テニュアトラック特任教授 招へい講演者 明石 大 大阪大学 特任教授 メインスピーカー課題 (明石 大阪大学 特任教授) [未定]
14:35～	<b>セッション3</b> 細菌の環境適応メカニズム 座長 山口 良弘 東京理科大学 テニュアトラック特任教授 招へい講演者 成谷 宏文 香川大学 助教 メインスピーカー課題 (成谷 香川大学 助教) [細菌における異株間 Protein Kinase を介するシグナル伝達系]
休憩 15:15～15:30	
15:30～	<b>セッション4</b> 複合等価システム創製の現状と展望 座長 藤 繁 東京理科大学 テニュアトラック特任教授 招へい講演者 藤本 美穂 大阪大学 教授 スピーカー1課題 (藤本 テニュアトラック特任教授) [Distributed Control of Multi-Agent Discrete Event Systems] スピーカー2課題 (藤本 大阪大学 教授) [Decentralized Supervisory Control of Discrete-Event Systems: How to Fuse Local Decisions]
16:10～	<b>セッション5</b> Bridging environmental exposure assessments and toxicity tests: Passive sampling and freely dissolved concentration (環境曝露評価と毒性試験の橋渡しをーパッシブサンプリングと遊離濃度測定) (環境曝露評価の概念に基づく曝露量の測定) 座長 藤巻 智 京畿大学 テニュアトラック特任教授 招へい講演者 Jung-Hwan Ko 韓国大学 Associate professor メインスピーカー課題 (Jung-Hwan Ko 韓国大学 Associate professor) [Building environmental quality criteria on the basis of the concept of freely dissolved concentration] [環境曝露評価の概念に基づく曝露量の測定]
16:50～	閉会挨拶

最初のセッションは、『宿主と細菌の戦い、巧妙な戦略』をテーマに、大阪大学 微生物病研究所 分子細菌学分野の新澤助教を講演者として招へいし、中臺テニュアトラック准教授が座長を担当して行われました。座長による、身近な細菌についてのイントロダクションののち、大阪大学の新澤先生にご講演いただきました。細菌に対する宿主の対応には攻撃と寛容（トレランス）がありますが、今回はサルモネラに対する宿主モデル（ショウジョウバエ）のトレランス機構についてのお話でした。後半では百日咳菌とマウスモデル間の相互作用について最先端の知見をご紹介いただきました。



中臺テニュアトラック特任准教授



大阪大学 新澤助教

2番目のセッションは、『高分子の集積によるバイオマテリアル創製』をテーマに、大阪大学大学院 生命機能研究科の明石特任教授を講演者として招へいし、麻生テニュアトラック特任講師が座長を担当して行われました。高分子材料（例えば、プラスチック）は日常生活でなくてはならない材料の一つであり、種々化学設計・構造設計によって使用者のニーズを満たした実用品として利用されています。低分子では弱い相互作用であっても、高分子効果によって集積に耐えうる相互作用となります。本セッションでは、大阪大学 明石特任教授に、弱い相互作用を巧みに使って、積み木（ビルディングブロック）を組み上げる要領で生体組織を作製する挑戦をご講演いただきました。



麻生テニュアトラック特任講師



大阪大学 明石特任教授

3番目のセッションは、『細菌の環境適応メカニズム』をテーマに、香川大学 医学部病理病態・生体防御医学講座 分子微生物学の成谷助教を講演者として招へいし、山口テニュアトラック特任准教授が座長を担当して行われました。本セッションでは、細菌の環境適応メカニズムとして成谷助教に「細菌における真核型 Protein Kinase を介するシグナル伝達系」についてご講演いただきました。教科書的な事実からご自身の最新研究まで詳細に解説していただきました。研究分野を超えた交流を行うことができ、有意義なセッションとなりました。



山口テニュアトラック特任准教授



香川大学 成谷助教

4番目のセッションは『離散事象システム制御の現状と展望』をテーマに、大阪大学大学院 工学研究科 電気電子情報工学専攻の高井教授を講演者として招へいし、蔡テニュアトラック特任准教授が座長を担当して行われました。離散事象システム制御理論は、現在までに、製造システム、通信システム、ロジスティクス管理システム、交通システムにおいて多くの用途が見出されています。蔡テニュアトラック特任准教授からはマルチエージェント離散事象システムの分散制御アーキテクチャを設計するための体系的な方法、高井教授からは離散事象システムの分散型監視制御にローカルな決定を融合する枠組みなど、現在主流で注目されているトピックスが紹介され、今後の研究の方向性も示されました。



蔡テニュアトラック特任准教授



大阪大学 高井教授

5番目のセッションは『Bridging environmental exposure assessments and toxicity tests: Passive sampling and freely dissolved concentration (環境曝露評価と毒性試験の橋渡しをーパッシブサンプリングと遊離溶存濃度)』をテーマに、韓国・高麗大学のJung-Hwan Kwon准教授を講演者として招へいし、遠藤テニュアトラック特任准教授が座長を担当して行われました。本セッションでは、有機化学物質の毒性評価方法と環境汚染状況の評価方法とのリンクについて議論されました。Kwon准教授は主にパッシブサンプリングを用いた毒性試験の方法を、ご自身の研究の紹介を交えながら解説されました。質疑では他分野の研究者からも毒性試験技術に関する質問があり、有意義な議論の場になりました。



遠藤テニュアトラック特任准教授



高麗大学 Jung-Hwan Kwon准教授

## (2) 2名のテニユアトラック教員がニューテクフェア2015で発表

平成27年12月8日火曜日、大阪産業創造館 4階イベントホールにて、大阪府立大学、大阪市立大学、および大阪産業創造館が主催する、『大阪府立大学・大阪市立大学ニューテクフェア 2015』が開催され、蔡テニユアトラック特任准教授と山口テニユアトラック特任准教授の2名が発表を行いました。それぞれ、『離散事象システムの分散制御』、『細菌の自殺遺伝子とその応用』と題して発表が行われました。



蔡テニユアトラック特任准教授の発表の様子



山口テニユアトラック特任准教授の発表の様子

## (3) 麻生テニユアトラック特任講師が高分子研究奨励賞を受賞

麻生テニユアトラック特任講師が平成26年度高分子研究奨励賞を受賞しました。高分子学会では、高分子若手研究者の活発な研究を奨励するとともに、将来、高分子科学の発展のために貢献する人材を育成することを目的として、研究奨励賞を授与しています。授賞式は平成27年5月28日に第64回高分子学会年次大会(北海道コンベンションセンター)で執り行われました。



授賞式の様子

## (4) 蔡テニユアトラック特任准教授が著書を出版

トロント大学W. Murray Wonham教授との共著で、蔡(Kai Cai)テニユアトラック特任准教授が執筆した本『Supervisor Localization』(出版社:Springer International Publishing)が2015年8月に出版されました。

